

# 北九州まちづくり応援団株式会社

## I 法人の概要 (平成 31 年 4 月 1 日現在)

- 1 所在地 北九州市小倉北区船場町 2-10
- 2 設立年月日 平成 17 年 6 月 27 日
- 3 代表者 代表取締役社長 原田 康
- 4 資本金 32,000 千円
- 5 北九州市の出資金 1,000 千円 (出資の割合 3.125%)
- 6 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	7 人	0 人	0 人	7 人
常 勤	1 人	0 人	0 人	1 人
非常勤	6 人	0 人	0 人	6 人
職 員	32 人	0 人	0 人	32 人

## II 平成 30 年度事業実績

第 14 期(平成 30 年度)は、①指定管理事業、②共通駐車券事業、③賑わいイベント事務局事業、④ビル管理事業 の 4 つに絞り、北九州市の重要な観光資源である「小倉城／小倉城庭園」を中心に、行政や周辺の商店街などと連携し、賑わいづくり・活性化に取り組んだ。

指定管理事業(小倉城・小倉城庭園・水環境館)のうち、小倉城については、平成 30 年 8 月から平成 31 年 3 月までのリニューアル工事の影響分を折り込み、770 万円の赤字予算としていたが、入場者は前年度(平成 29 年度)に対して 60%減少したものの、売店を着見櫓の 2 階に移して営業を続けたことや、駐車場の収入の落ち込みが想定より少なかったこと、更にリニューアルオープン直後の 3 月末 2 日間の予想を上回る集客効果もあって、小倉城の営業収入は、予算より 1,080 万円向上するなど、小倉城の経常利益は黒字化した。また、小倉城庭園については、入館者数は小倉城閉館による 3 館共通券の販売減少と韓国からの観光客の入館減少により、対前年度 93%となり、営業収入も、予算を 280 万円ほど下回ったが、経常利益で 800 万円ほど確保した。水環境館も僅かに予算を上回り、指定管理事業全体として、経常利益では 767 万円の黒字を達成した。

本部関連事業において「共通駐車券事業」および「賑わいイベント事務局事業」「ビル管理事業」について、おおむね予定通りの活動を行った。共通駐車券では、3 件の新規契約先を開拓、小倉イルミネーションでは、市制 55 周年記念として大乾杯大会直後に花火を打ち上げるなどの取組を行った。本部経費として、次期指定管理に向けた提案活動費、アテンダント研修や拠点事務所の移転費用などが先行的にかかり 400 万円ほど経費がかかった。

以上の事業活動の結果、当社の当年度収入は、2 億 4,265 万円(対前年度 86.7%)と小倉城の 8 ヶ月閉館による負の影響はあったが、収入改善や経緯削減に取り組んだ効果もあり、経常利益は 329 万円の黒字を計上した。

### Ⅲ 平成30年度決算

#### 1 貸借対照表

平成31年3月31日現在 (単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【 流 動 資 産 】</b>	<b>【63,876,978】</b>	<b>【 流 動 負 債 】</b>	<b>【19,084,613】</b>
現 金	5,247,892	未 払 費 用	14,334,780
預 金	42,736,671	未 払 法 人 税 等	385,200
商 品	1,943,617	預 り 金	1,417,903
貯 蔵 品	878,232	仮 受 金	1,722,130
仮 払 金	19,440	未 払 消 費 税	1,224,600
前 払 費 用	209,952	<b>【 固 定 負 債 】</b>	<b>【3,916,000】</b>
未 収 入 金	12,806,165	長 期 借 入 金	3,916,000
立 替 金	35,009	<b>負 債 合 計</b>	<b>23,000,613</b>
<b>【 固 定 資 産 】</b>	<b>【2,430,326】</b>		
(有形固定資産)	(2,024,326)	<b>純 資 産 の 部</b>	
建 物 附 属 設 備	2,024,326	<b>【 株 主 資 本 】</b>	<b>【43,306,691】</b>
(投資その他の資産)	(406,000)	資 本 金	32,000,000
投 資 有 価 証 券	60,000	( 利 益 剰 余 金 )	(11,306,691)
出 資 金	10,000	そ の 他 利 益 剰 余 金	11,306,691
敷 金	336,000	繰 越 利 益 剰 余 金	11,306,691
		<b>純 資 産 合 計</b>	<b>43,306,691</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>66,307,304</b>	<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b>	<b>66,307,304</b>

2 損益計算書

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日 (単位：円)

科 目		金 額	
【 売 上 高 】			
事業収入金		48,388,777	
小倉城関連売上		194,256,618	242,645,395
【 売 上 原 価 】			
期首棚卸高		2,882,097	
小倉城関連売上原価		5,544,553	
仕入高		42,292,350	
※ 合計 ※		50,719,000	
期末棚卸高		▲1,943,617	48,775,383
	売上総利益金額		193,870,012
【販売費及び一般管理費】			195,361,933
	営業損失金額		▲1,491,921
【 営 業 外 収 益 】			
受取利息		559	
雑収入		4,834,380	4,834,939
【 営 業 外 費 用 】			
支払利息割引料			55,109
	経常利益金額		3,287,909
	税引前当期純利益金額		3,287,909
	法人税、住民税及び事業税		385,200
	当期純利益金額		2,902,709

#### IV 令和元年度事業計画

当年度は、前年度に引き続き ①指定管理事業、②共通駐車券事業、③賑わいイベント事務局事業、の3本柱で利益を生み出し、それによって北九州市の重要な観光資源である小倉城を中心に、行政や周辺の商店街などと連携して賑わいづくり・活性化に取り組む。

指定管理事業により、小倉城及び小倉城庭園を新たに今年度から3年間運営管理し、小倉城周辺魅力向上事業計画の実現へ向け、単独ではなく、地場の4団体との共同事業体での運営を選択した。この4月から共同事業体での運営がスタートし、新たな方針に基づき運営している。

小倉城については、昨年8月からのリニューアル工事(エレベーター新設及び展示施設刷新)が完成、3月末のオープン以降、これまで好調な立ち上がりとなっている。また、新たに追加の付帯施設としてオープンしたしろテラスも、お土産コーナーの売上が順調に推移している。

「共通駐車券事業」については、引き続き、新規活用店舗や利用駐車場の拡充に努めるとともに、より効果的な事業PRを行っていく。

「賑わいイベント事務局事業」については、冬の小倉を彩る「小倉イルミネーション実行委員会」事務局を引き続き受託予定であり、独自事業であるイルミネーション初日の大乾杯大会も例年通り開催を予定している。

結果として、第15期の収入は2億7,000万円を見込み、支出面では、新たな指定管理事業の立ち上げで費用が一時的に増加するが、黒字計上の実現に向け努めていく。

#### V 役員名簿

令和元年7月1日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役会長	利島康司	北九州商工会議所会頭
代表取締役社長	原田康	北九州商工会議所副会頭
取締役	二郎丸聡夫	北九州商工会議所 理事・事務局長
取締役	甲山博美	小倉中央商業連合会顧問
取締役	北里勝利	北九州市小倉北区長
取締役	原賀一博	北九州まちづくり応援団(株) 統括本部長
監査役	庄山和利	西鉄バス北九州(株) 代表取締役社長